



清流小学校だより

～2学期①号～

令和3年11月8日

コロナ禍でも 実りの秋 充実の秋

教務主任

9月に2学期がスタートし、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが上がる中、市内小学校では下校時刻を早めると共に運動会を一週間遅らせるという措置がとられました。「コロナ禍」では、状況に合わせた変更が当たり前です。以前のように行事を従来そのまま実施するという事はなかなかできません。今年も午前中で終了する運動会のプログラムとなりました。しかし、短くなった運動会でも練習には手をぬきません。限られた条件の中でどの学年も一生懸命練習をし、本番の応援や競技にその成果を発揮しました。6年生のリーダーシップも素晴らしく、今年もいつもと変わらない清流っ子の素敵な姿を見せてくれました。

また、10月には昨年できなかった清流フェスが実施されました。これもいつもと異なる形式となりました。学年発表集会では、日々練習に励み、それぞれの学年の個性と成長ぶりがうかがえる発表となりました。親子活動やビンゴゲームでは、うれしそうに親子で触れ合ったりゲームを楽しんだりする子供たちの姿がとても印象的でした。お菓子等の仕入れや配布を含め、お世話をしてくださったPTA役員の皆様ありがとうございました。そして、保護者の皆様には午前、午後にとわり、ご参観・ご参加くださり本当にありがとうございました。従来と異なる形式ではありましたが、行事を一つ復活することができたことは、子供たちにとって教育的に大きな意味があったように思われます。

さて、めっきり寒くなり深まりゆく秋を感じる今日このごろですが、体調に気を付けて2学期の後半をのりきっていかれたらと思います。このあとも仲間と共に活動したり学習したりする楽しさを十分に味わえるような教育活動や学習指導を工夫しながら実施し、より充実した2学期にしていきたいと思います。

ご家庭での日々の励ましや体調管理等、今後ともご協力をお願いいたします。

運動会 心を一つにした応援合戦



タブレットを活用した授業



学習発表会



裏面もご覧ください！

6年生の取組

「姿や行動で伝える」

10月16日(土)に清流フェスが行われました。制限がある中での実施となりましたが、子供たちはこれまでに頑張ってきた練習を十分に発揮することができました。

6年生は小学校生活最後の学習発表となりました。大変短い練習期間でしたが、ドラゴンクエストの合奏や、コロナ禍前まで運動会で行ってた組立体操に、毎日懸命に取り組みました。中には友達と声をかけ合い、休み時間に音楽室へ行って自主練習を行う子供もいました。最高学年として数々の行事を経験する中で、自分たちで考えたことを率先して実践しようとする姿に大きな成長を感じました。

本番が近づくとつれ、子供たちの中に不安や緊張が出てきました。「最高学年として最高の発表をしたい」と思うほど、「失敗したらどうしよう」というあせりが増してきました。そこで、6学年担任からは「間違えたり失敗したりしたとしても、最後まで一生懸命取り組む姿は美しい」ということを伝えました。学習でも運動でも、諦めず最後まで精一杯頑張った経験は、今後の大きな支えになるとと思います。子供たちはその後も繰り返し練習に励み、粘り強く取り組みました。

本番の発表では最終発表という緊張感の中、満足のいく最高の発表をすることができました。きっと、下級生は「6年生ってすごい！自分もいつか6年生みたいになりたい！」と思ったのではないのでしょうか。

行事を通して6年生のたくましさや物事に一生懸命取り組む姿勢を伝えられたと思います。卒業までの残りの日々の中でも、下学年に向けて「姿や行動で伝える」場面を一つでも多くつくっていったらと思います。



2年生の取組

上手になったよ！水泳学習

2学期に入り、市民プールに行き3回の水泳学習を行いました。1学期に水泳学習があまりできなかった分、今回の水泳学習を子供たちは毎回大変楽しみにしていました。学習では、泳力によって2グループに分かれ、それぞれ大プール・小プールで練習をしました。1回目は、けのびやボビング、バタ足の練習を中心に行い、2回目以降はビート板なしでの練習や背泳ぎ・クロールの練習等、練習内容もどんどん高度になりました。1時間という短い時間の中でも、集中して練習していくうちに、水に顔をつけられなかった子が潜れるようになったり、初めてビート板なしで泳げるようになったりと、みるみる上達していく子供たち。そのような一人一人の成長の様子を間近に見ることができ、子供たちの挑戦する姿に嬉しさを感じると共に、子供たちのもつ力の大きさに驚かされるばかりでした。

水泳学習後には、「顔つけられたよ」や「もっと上手になりたい」などの声が聞かれ、子供たち自身も今回の水泳学習に充実感を感じたり、自分の成長への達成感を味わっていたようです。中には、「水が怖い」と始めに言っていた子が、「水泳がちょっと楽しくなった」と話している姿もあり、一人一人がそれぞれの目標に向かって挑戦をし、頑張ってきたことがよく伝わりました。

水泳学習を通して、心身共にさらにたくましく成長した2年生。子供たちからは「何事も挑戦すること」の大切さを改めて感じさせられました。今後も挑戦する姿勢を大事にし、できる喜びを感じたり、成長した姿を実感したりできるように励ましながら、支援していきたいと思えます。



2学期②号(12月号)では、4・5年生の取組をお伝えします。